

徹底

生ごみの水切り



生ごみの水切りをしないと、焼却施設に悪い影響を与えるだけでなく、処理費用もたくさんかかります。

水気のあるもの



三角コーナー（水切りネット等）には、水気のあるものだけを入れる。

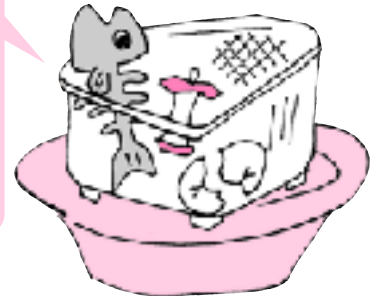
野菜などは、要らない皮などをむいてから洗い、野菜くずを濡らさないようにする。また、水気のないものは、ごみ袋に直接入れるなど、余分な水分を吸わせない。

水気のないもの



ごみ出しする前にもう一度、強く手で押しつぶしたり、絞ったりして、再度水切りを行う。

三角コーナー（水切りネット等）には、水がかからないようにする。また、皿などを敷いて、下から水分を吸わせないようにする。



水切りネットや、水切り袋はそのまま一般ごみの中に入れてもかまいません



水切りした後の生ごみは、他の一般ごみ（ティッシュペーパー、細かく切った（汚れた）紙、割り箸、タバコの吸殻など）と混合して1つの袋に入れて出す。

ごみ袋の中に水が溜まっているようなことは、絶対にないようにしてください。



※紙製容器包装、ミックスペーパーなどの紙ごみを入れて水分調整することは、全体のごみ量が増えてしまうので絶対に止めてください。

※雨の日は、袋に水滴が付くので、できるだけ出さずに次の収集日をお願いします。

問合せ：減量推進課（☎内線295）